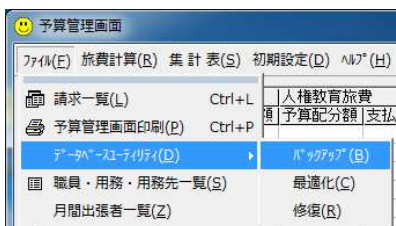
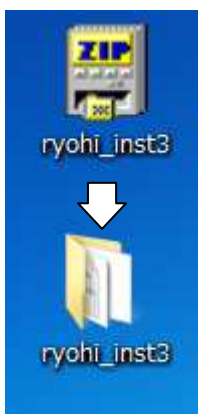


1 旅費計算システムのインストール手順



(重要) インストール作業を開始する前に、前バージョンのデータを旅費計算システムのメニューでバックアップした後、前システムを必ずアンインストールしてください。

1. 1 プログラム本体のインストール

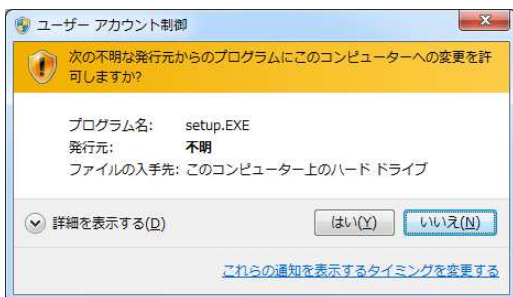


教育事務所のホームページからインストーラ (ryohi_inst3.EXE) をデスクトップ等へダウンロードし、ダブルクリックしてファイルを解凍します。

解凍に成功すると、「ryohi_inst3」というフォルダが作成されます。



「ryohi_inst3」フォルダを開き、中にある「setup.EXE」をダブルクリックして実行します



Windows 7 では、ユーザーアカウント制御のメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

※Vista では異なるメッセージが表示されるので、「許可」をクリックしてください。

※ユーザーアカウント制御が無効にされている場合には、メッセージは表示され

ません。

画面の指示に従って、⑦の画面まで「次へ」ボタンをクリックします。

①



②



③



④



⑤



⑥



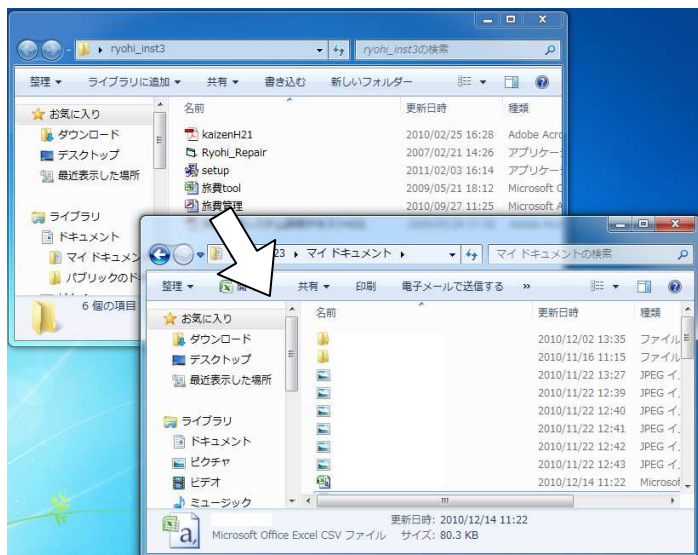
⑦



インストールが正常に終了すると、スタートメニューへの登録とデスクトップ上へのショートカットの作成が、自動的におこなわれます。

1. 2 データファイルと補助プログラムのインストール

Windows Vista 以降の OS では、XP までのように C:\Program Files の中にデータファイル等を置いた場合、一部の機能が動作しないことがあるため、バージョン 3.11.4 以降ではデータファイルと補助プログラムを「マイドキュメント」の中に置くように変更しました。



全く新規に旅費計算システムを利用する場合には、「ryohi_inst3」フォルダの中にある次の 2 個のファイルを、「マイドキュメント」の中へコピーしてください。

- 旅費管理.mdb
- 旅費 tool.xls

今まで利用していた旅費計算システムのデータを引き継ぐ場合には、最初に作成したバックアップファイルを、「マイドキュメント」の中へコピーしてください。

バックアップ作成時にファイル名を変更した場合には、「マイドキュメント」へコピー後、標準のデータファイル名（「旅費管理.mdb」）に戻してください。

使用するパソコンが変わった場合には、次のような手順になります。

古いパソコン



データファイル（旅費管理.mdb）のバックアップを作成し、USB メモリや共有ファイルサーバ等へコピーする。

新しいパソコン



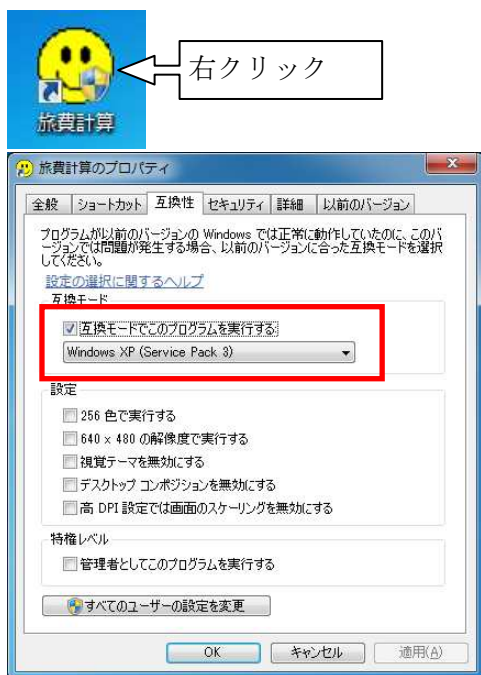
データファイルを、USB メモリや共有ファイルサーバ等から新しいパソコンの「マイドキュメント」へコピーする。

これでインストール作業は終了です。

ダウンロードしたファイル (ryohi_inst3.EXE) と解凍したフォルダ (ryohi_inst3) は不要ですので、削除してください。

※バージョン 3.10.10 からバージョン 3.11.4 への移行には、データ移行ツールはありません。(データファイルを「マイドキュメント」へコピーするだけです。)

1. 3 互換性の設定 (Windows Vista と Windows 7 のみ)



デスクトップの「旅費計算」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択します。

「互換性」のタブを選択し、「互換モードでこのプログラムを実行する」にチェックを入れて「OK」をクリックします。

OS の選択は、「Windows XP Service Pack3」を選択します。

※互換性の設定は、最初に 1 回だけ行えば、以後は行う必要はありません。

※バージョン 3.11.4 以降は、自動的に管理者として実行するため、以前のバージョンでおこなっていた「管理者として実行」の手順は不要です。

※「Windows XP Service Pack3」が表示されない場合は、別の Service Pack 番号を選択してください。